

埼玉トヨペット Green Brave



2019 RACE REPORT

【#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC】

2019年9月21日(土)～9月22日(日)

AUTOBACS SUPER GT Round7

SUGO GT300km RACE

スポーツランド SUGO (宮城県村田町)

■ ■ ■ ■ ■ 後方から怒涛の追い上げ。16台抜きで8位入賞 ■ ■ ■ ■ ■

予選日の天候は曇り。Q1はA、B、2組に分かれて行われ、#52 マーク X MCはB組に出場。アタックを担当したのは脇阪選手。朝一に行われた練習走行では、脇阪選手がスピンしてコースアウト。リアセクションにダメージを負ってしまう。スタッフの懸命な修復作業により、残り約30分でコースに復帰することができたが、マーク X MCの全体の評価を十分にできないまま予選を迎えることに。スペアパーツの関係でリアウイングも別タイプのものを装着している。脇阪選手はグリーンシグナルと同時にコースイン。タイヤを温めながら周回を重ね、4周目に1分19秒173をマーク。この時点で7位につけているが、Q1突破を確実にするために脇阪選手はアタックを続ける。セクター1を自己ベストで通過。タイムアップの期待が高まるが、後半のセクターでタイムをロスしてしまいB組12位(1分19秒403)。A組を合わせた予選順位は24位となり、優勝を目指しているチームにとって厳しい結果となった。

決勝日朝の天候は曇り。決勝が行われる時間帯に雨予報が出ており、前戦・オートポリスと同様、難しいコンディションでのレースになることが予想された。グリッドに全車が整列した後、13時頃から雨が降り始め、スタート直前に勢いを増す。スタートドライバーを務めた吉田選手はチームと協議の上、レインタイヤを選択。雨のためセーフティカー(SC)の先導でレースはスタート。4周目にSC解除。ドライタイヤを履いてスタートしたチームもあり、吉田選手のタイヤ選択は吉と出て、ライバルを次々とパス。5周目のホームストレートを19位で通過する。吉田選手のペースは上位と遜色なく、5周目に15位、10周目に12位まで浮上。さらに16周目には#360 GT-Rを抜き、入賞圏内の9位まで順位を上げる。天候の変更が読めないため、吉田選手を含む多くのドライバーがピットに入らず走行を継続。27周を過ぎたあたりからライバルがピットに入るようになり、吉田選手の順位がさらに上がる。27周目に8位、35周目に7位。36周目にGT500クラスのクルマがコースアウトし、2回目のSCが導入される。タイミング良くピットに入った上位勢もいたが、吉田選手は走行を継続。SC解除直後の41周目にピットインに入る。脇阪選手に交代し、タイヤ交換と給油を行ってピットアウト。脇阪選手の順位は10位で、新品タイヤでの追い上げに期待が高まる。しかし、脇阪選手はタイヤのフィーリングに違和感を覚えており、ラップタイムは伸び悩む。それでも力強い走りでも脇阪選手は52周目に9位、55周目に8位に浮上。60周目に#21 R8に抜かれて9位に下がるが、ペースは改善されており。72周目に#18 NSXを抜き再び8位となる。脇阪選手は順位をキープし、77周終了時点でチェッカー。今季3回目の入賞を果たし、ランキング10位で最終戦を迎えることになった。

決勝結果 (GT300)

#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC

(脇阪薫一/吉田広樹)

決勝：8位 (77周、2時間09分13秒056)

予選：24位 (Q1:1分19秒173)

GT300 決勝結果

1位:ARTA NSX GT3(ホンダ NSX GT3)	78周
2位:グッドスマイル初音ミク AMG(メルセデス AMG GT3)	78周
3位:K-tunes RC F GT3(レクサス RC F GT3)	78周
4位:LEON PYRAMID AMG(メルセデス AMG GT3)	78周
5位:リアライズ 日産自動車大学校 GT-R(日産 GT-R NISMO GT3)	77周
8位:埼玉トヨペット Green Brave マーク X MC(トヨタ マーク X MC)	77周

天候:雨、路面:ウエット ※トップ5まで(出走28台)



DRIVERS VOICE

ぼくらは中途半端な路面が不得意なので、スタート前に雨が降ってくれたのは良かったです。その中でチームがいいタイヤを選択してくれ、吉田選手が追いつけてくれました。何台かはSC中のピットワークができて最高だったのですが、我々はSCあけに交代して、雨がきつくなるので、それに合わせたレインタイヤが出ていったのですが、ぼくのペースはあまり速くなかったんで、これは今後の課題かなと思っています。ポイントを獲得したのは良かったのですが、やはり昨日の出だしでぼくが歯車を狂わせてしまったので、今後のレース活動で出ないように頑張りたいと思います。今回はチームに助けてもらいました。

(協阪薫一選手)

コンディションがどうなるかわからない中、チームが選んでくれたタイヤがマッチしてくれました。他のチームのマシンとの差で、単独では良いペースで走れるのですが、追いついた時に抜きあぐねる傾向がありました。とはいえ順位を上げられるぐらいのラップタイムの差はあったので、自分のスティントに関してはいい状態で走らせてもらったと思います。16台も抜けたのは素直にうれしいのですが、あくまで天候あってのこと。オートポリスでの経験を活かし、チームとドライバーがコンディションを読んで合わせて、ポイントまでたどり着いたことに意味があります。そこがチームの進化の部分だと思います。

(吉田広樹選手)



MECHANIC VOICE

天気予報を事前にチェックし、だいたいどのタイヤを使うのかを聞いて、出しやすいところに置いておいたので、すぐに準備はできていました。ただ、気温と雨量が見えないので、ちょっとバタバタしたところはありましたね。ドライは使うタイヤが決まっているので、だいたい把握できていますが、ウエットはその時の気温とか雨量で変わってくるので予想できません。全部を把握してどれでもいけるように準備しているので問題なくできました。

(熊谷支店・竹内佑貴)



チームランキング GT300

1位	55	ARTA	81.5
2位	96	K-tunes Racing	64
3位	4	GOODSMILE RACING&Team UKYO	62.5
4位	56	KONDO RACING	61
5位	88	JLOC	55.5
10位	52	埼玉トヨペット Green Brave	41.5
トップ5まで(全29チーム中)			

埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS 協賛各社

Total Advertising Agency
Assist one

株式会社アシスト・ワン

ALPINE
Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社

Coolens
OPTICALS

株式会社エヌ・ティ・コーポレーション

ThreeBond

崎群スリーボンド株式会社

トヨタ部品埼玉共販

トヨタ部品埼玉共販株式会社

UNDER ARMOUR

株式会社ドーム

株式会社 **ハッピーライフ彩生**

株式会社ハッピーライフ彩生

※50音順

[次戦予告]

11月2日~3日

ツインリンクもてぎ(栃木県芳賀郡茂木町)